

# 公益社団法人 福井県理学療法士会 News Letter No.211

発行人：福井県理学療法士会  
〒910-0855  
福井市西方 1-2-11 嶋田病院  
会 長：四谷 昌嗣  
情報通信部：小川 智生

「若いうちの苦労は買ってでもせよ」

福井総合病院 小川智生

情報通信部では皆様へのメール配信や、県士会 HP の管理、年 4 回発刊の県士会ニュース作成など、福井県士会会員の皆様方のご協力を賜りながら活動をしています。会員の皆様から、情報発信したい事などがありましたら、是非ご相談ください。

さて、私は表題のように「若いうちの苦労は買ってでもせよ」という言葉を座右の銘としています。皆様も、若手時代などに指導者から口酸っぱく言われた言葉かと思いますが、私も例にもれず先輩からこの言葉を頂きました。この言葉を私は「経験の浅い若い時代に、色々な経験（成功体験や失敗体験など）を積むことが、必ず将来の役に立つ」という意味で捉えています。新人時代の私は、半信半疑ながら、いつか役に立つと思い、臨床業務の傍ら症例報告や臨床研究などに取り組んでみました。最初の頃は、臨床に日々立ち向かうだけで精一杯で、やめたいと思う事もたくさんありました。しかし、様々な経験を積んでいく中で自分の仕事のキャパシティや対応力が上がっていく事を感じました。経験年数を積んでいく中で、それまでの経験が自分の成長につながっている事を実感しています。

最近では、「ワーク・ライフ・バランス」というように、プライベートと仕事の両立が大事とされています。しかし、私はチャンスがあれば、どんな事にもチャレンジしていくべきであり、多少はプライベートを削ってでも頑張る必要があると考えます。それぞれのライフスタイルによりませんが、結婚・育児などライフステージの変化に伴い、自分の時間がどんどん減っていきます。若いうちでなければ犠牲にするものも大きく、腰が重くなっていきます。若手のみなさんは、先輩から「症例報告してみないか」と声をかけられたりするかと思います。それは仕事以外の時間で立ち向かう必要があり、すごく大変です。プライベートが犠牲になります。提出してはダメ出しされ、修正の繰り返しで辛い時間が続きます。しかし、一症例に対して深く考えたその時間はかけがえのない大切な経験となります。自分の成長に必ず繋がります。私は「自分じゃなかったら、あの患者さんをもっと良く出来ていたかもしれない…」なんていう、悔しい思いを新人の頃には日々感じていました。今でも、苦い経験をする事はあるし、まだまだ、成長していく必要があると感じています。挑戦をやめる事は、成長が止まる事と同義だと捉え、日々頑張っていきたいです。



## 世界理学療法連盟学会(WPT)2023@Dubai で表彰されました。

福井県医療福祉専門学校

小林 義文

2023年6月1日～3日に開催された世界理学療法連盟学会（アラブ首長国連邦ドバイ）でリーダーシップ・イン・リハビリテーション賞をいただきました。この賞は、リハが行き届かない地域にサービスを提供したことを表すものです。これまで長年にわたり取り組んできた、日本理学療法士協会の国際協力活動に対する世界的評価の表れであり、私は皆様を代表していただいたものであると深く認識しています。

さて、私は丸岡の小さな農村の長男として生まれ、国立犀潟病院附属リハビリテーション学院を経て、同じ新潟県はまぐみ学園（現はまぐみ小児療育センター）で3年間勤務後、縁あって青年海外協力隊隊員としてマレーシアに派遣されました。時はちょうど国連国際障害者の10年にあたり、そのころ途上国に位置していた（現在は中進国）マレーシアには、世界中から障害者支援の様々なプロジェクトが展開されていました。といってもマレーシア語は幼稚園レベル、英語は中学校レベルであった私にはそんな情報は全く入ってこず、ひたすら派遣先であったサバ・チェシャーホームという重度障害者療護施設で業務に励んでいました。半年を経たころ同じ地域にいたイギリスやアイルランド、同じ日本の福祉関連ボランティアに誘われて、一緒に小さな療育通園センターを立ち上げました。また、2年間の活動中、休暇を利用して近隣諸国のリハビリテーション事情を見て歩く中で、違う国の仲間と働く楽しさを知りました。

元来、頭より身体を動かすタイプの私は、帰国後も、病院勤務の傍ら休みを利用してアジア地域の療育、障害者支援、リハビリテーション事情を見てきました。アジア太平洋障害者の十年が始まると、日本理学療法士協会は、インドネシア中央ジャワ地域リハ人材育成プロジェクトや、国際協力に関わるリハ職種育成ミナーを開始し、これに関わりました。地元福井では県理学療法士会に国際部ができて、市民が中心となる障害分野の国際NPOもできたので関与しました。このような活動を通じ、現職のまま大学院に進学するPTを横目で見、いつか自分もこれまでの見聞を研究したいと思うようになりました。54歳で一念発起し、社会的調査手法を学ぶべく、夜間大学院に進学しました。しかし、このころ妻が急逝し、一方で現在の妻と出会うなど、紆余曲折ありましたが、それでもリハビリテーション分野の途上国支援は続けてきました。

賞をいただくにあたり、「なぜ私?」、「本当?」という気持ちがとても強かったのですが、授与式のパンフレットで、Ms. Valerie Taylor（私の前のページに掲載、当日はオンライン参加）と同時受賞を知った時は涙が出ました。彼女とは1988年に活動拠点であるバングラディシュで出会い、同じ若い時分の一時の国際協力ボランティアでありながら、その後も現地とのかかわりを絶やさず（彼女は母国から移住していた）活動が続けてきたこと、同じ時代に、同じ事を考えて、今日まで働いてきたことを知った時、年甲斐もなく胸が熱くなりました。

最後に、このような機会を与えてくださったJPTAの皆様、いつも背中を押してくださった福井県理学療法士会の皆様に再度感謝いたします。Terima kasih banyak-banyak.



## 施設紹介

### リリフィジオグループ 医療法人三愛会/ふらむはあとリハビリねっと

#### 1. 小浜市の紹介

小浜市は福井県の南西部若狭地方のほぼ中央部に位置しています。人口は28,000人程。北は国定公園の指定を受けた若狭湾に面し、海岸線の一部は「蘇洞門（そとも）」を有するリアス式海岸となっています。北陸圏域にありながら、風俗、習慣、言語などは近畿圏域との歴史的・文化的つながりがあります。



#### 2. 法人の紹介

株式会社ふらむはあとリハビリねっとは、平成15年の起業ののち、小浜市、若狭町、おおい町、高浜町、京都府舞鶴市、綾部市、福知山市、宮津市、滋賀県高島市などを対象に訪問看護による訪問リハビリテーションを軸に、通所介護、予防事業、フィットネス事業など、理学療法士の強みを活かして、地域の医療・保健・福祉支えるために活動してきました。

医療・介護・保健を取り巻く社会情勢が大きく変動していた2017年に、社会情勢に左右されることなく安定して、質の高いサービスを継続していくために、20数年前より小浜市で産婦人科と小児科の有床診療所として周産期医療、新生児から成人における医療を支えていた中山クリニックと法人合併を行い、新たに医療法人三愛会が誕生しました。

2019年4月からは新たに脳神経外科の開設と在宅訪問診療専門医の配置を行い、内科・小児科・婦人科・脳神経外科外来と訪問診療と整備を進めました。また同年7月にリハビリテーション外来や訪問・通所リハビリテーションを開設しました。

介護サービスにつきましては、居宅介護支援、訪問看護、訪問リハ、訪問介護、介護タクシー、通所介護、看護小規模多機能型居宅介護（訪問・通所・短期入所）、サービス付き高齢者向け住宅、介護予防サービスなど、あらゆる年代の様々な地域の方々のニーズにお応えできるよう、多様なサービスを提供しております。

理学療法士の専門性を活かしたカスタムメイドインソールの作製提供事業、ノルディックポールなどを活用した歩行支援事業、一般向けフィットネス事業なども行っています。また小浜市児童発達支援センターCokoUta（ここうた）にて、発達障害児の療育も行っています。



各種事業の中で、正確なアセスメントから科学的分析のもと生活機能の予後予測を行い、運動を治療手段として用いる理学療法士の専門性をいかに発揮し、質の高いサービス提供を実践しています。

一丸となって地域に住む新生児期から終末期までの各ステージのどのような方でも、いきいきと豊かに、最期まで住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、自立支援と健康づくりのシステム作りと実践を目指しています。

### 3. リハビリテーション部門紹介

現在、グループ内にはPT18名、OT9名、ST1名が在籍しております。予防期、急性期から生活期までご利用者の思いに寄り添い、「やりたい」に挑戦できるよう支援を行い、その人らしい生活を安心して送れるよう取り組んでいます。また、法人内外の各事業所と情報共有や連携をとりながら日々業務にあたっています。

異質のものに対する理解と寛容のこころを持ちながら今後も地域のために活動していきたいと考えております。



## 事務局からのお知らせ 8月

### ◆ 会員の動向（令和5年7月末現在）◆

会員数：928名（勤務先会員 881名、自宅会員 46名）、施設数：197施設

新入会員：47名、休会者数：10名、退会者数：18名

＊会員の皆様、当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

士会活動は皆様の会費によって運営されております＊

### ◆ 外部団体からの資料（令和5年4月～7月末受付分）◆

下記の資料を事務局で保管しております。ご興味ある方は事務局へお問い合わせください。



| 学術誌                          |                       | ニュース                             |                 |
|------------------------------|-----------------------|----------------------------------|-----------------|
| 岐阜県理学療法士会学術誌 第26号            | (公社)岐阜県理学療法士会         | ゆきわり草 新潟県理学療法士会ニュース No.202       | (公社)新潟県理学療法士会   |
| 愛知県理学療法学会誌                   | 第31回愛知県理学療法学会大会事務局    | 山梨県理学療法士会会報誌 サポーターズ No.161       | (一社)山梨県理学療法士会   |
| 高知県理学療法 第29巻                 | (公社)高知県理学療法士協会        | 和歌山県理学療法士協会ニュース 98号              | (公社)和歌山県理学療法士協会 |
| 秋田理学療法 Vol.30 No.1           | (公社)秋田県理学療法士会         | 福井県言語聴覚士会ニュース 第59号               | (一社)福井県言語聴覚士会   |
| 理学療法 京都 No.52,2023           | (一社)京都府理学療法士会         | 神奈川県理学療法士会ニュース No.295            | (公社)神奈川県理学療法士会  |
| 第26回静岡県理学療法士会 学会誌            | (公社)静岡県理学療法士会         | 秋田県理学療法士会ニュース 第208号              | (公社)秋田県理学療法士会   |
| 理学療法(湖都) 第42号                | (公社)滋賀県理学療法士協会        | JPTA NEWS No.342                 | (公社)日本理学療法士協会   |
| 学術誌                          | (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター | 愛知県理学療法士会ニュース No.209             | (公社)愛知県理学療法士会   |
| 福井県診療放射線技師会 心あつと福井 第44号      | (公社)福井県診療放射線技師会       | 広島県理学療法士会ニュース No.273             | (公社)広島県理学療法士会   |
| その他                          |                       | 大阪府理学療法士会ニュース 第297号              | (公社)大阪府理学療法士会   |
| 令和4年度地域保健総合推進事業報告書           | (一社)日本作業療法士協会         | ゆきわり草 新潟県理学療法士会ニュース No.203       | (公社)新潟県理学療法士会   |
| 第22回日本医療マネジメント学会福井県支部学術集会抄録集 | 日本医療マネジメント学会福井県支部     | JPTA NEWS No.343                 | (公社)日本理学療法士協会   |
| 医学中央雑誌 収載誌目録 2023            | 医学中央雑誌刊行会             | 大阪府理学療法士会ニュース 第298号              | (公社)大阪府理学療法士会   |
| (公社)秋田県理学療法士会 創立50周年記念誌      | (公社)秋田県理学療法士会         | 熊本県理学療法士協会「かくどけい」VOL142          | (公社)熊本県理学療法士協会  |
| 2022年度第2回自立支援研修会資料           | 福井県リハビリテーション支援センター    | 広島県理学療法士会ニュース 「One step Vol.274」 | (公社)広島県理学療法士会   |
| NO Limit vol.93              | (公社)日本理学療法士協会         | 神奈川県理学療法士会ニュース No.291            | (公社)神奈川県理学療法士会  |
| 創立40周年記念誌                    | (一社)日本作業療法士協会         | 「CSW'Sふくい」(第25号)の送付について          | (一社)福井県社会福祉士会   |
| 四国理学療法士会創立50周年記念誌            | 四国理学療法士会              | 秋田理学療法 第209号                     | (公社)秋田県理学療法士会   |
|                              |                       | 和歌山県理学療法士協会ニュース 99号              | (公社)和歌山県理学療法士協会 |
|                              |                       | 士会だより 第200号                      | (一社)兵庫県理学療法士会   |
|                              |                       | 愛知県理学療法士会ニュース No.210             | (公社)愛知県理学療法士会   |

### ◆ 会員の皆様へ◆

7月から続く暑さがいまだ衰えることなく、お盆が過ぎても厳しい残暑が続いております。

蓄積された疲労が出てくる頃です。空調の効いたところでも熱中症は起こりますので、十分な水分と睡眠をとって、体調管理には気を付けましょう。

